

「つるっこ画樹園！～実れ鶴心～」

鶴ヶ谷市民センター

×宮城野区中央市民センター



[講座レポートはこちら](#)

1 事業概要

つるっこ画樹園は、少子高齢化の地域課題に対し、地元の中学生在が地域住民の集う場として美術展を開催する事業です。令和元年から本格的に始めました。鶴ヶ谷中学校美術部の生徒は、地域課題を考えるワークショップを行った後に、鶴ヶ谷の魅力的な風景を水彩画や写真にして表現します。参画した中学生自身が地域の魅力を発見し、将来の地域づくりの担い手としての意識を高く持つことを目指しています。



2 令和4年度の活動



水彩画講座

(1) 地域の魅力を考える／魅力を見つける

鶴ヶ谷地域の魅力を考えるため、昨年度末に地域で活動する3団体を講師に迎えてワークショップを開催しました。そこで学びを活かし、6月に水彩画のテーマとする魅力的な地域の風景を撮影しました。8月には水彩画の講習を受け、基本的な表現技法を身に付けることで素晴らしい絵画作品に仕上げることができました。

(2) 「つるっこ画樹園発！杜の美術展Ⅳ」

9月から11月にかけて美術展に向けた企画会を行いました。今年はステージ発表、作品展示、体験の3つのセクションに分かれて準備を進めました。ステージ発表では、中学生発案の地域クイズを披露しました。体験では、ダンボールのお家や紙粘土のバーガー作りで来場した小学生を楽しませました。今年は多くの地域団体も参加し、鶴ヶ谷小学校の鶴ヶ谷音頭の紹介やまるっとつるがやと鶴ヶ谷地域包括支援センターの資料展示、仙台第三高等学校吹奏楽部の演奏（ビデオ上映）なども充実し、参加者と共に地域に一体感が生まれました。



中学生による手作り体験

3 成果と課題

美術展の企画は、中学生が中心となって会議を進めてきました。中学生が地域の大人と関わる機会を持つことで、世代間交流の場を創出することができました。「杜の美術展Ⅳ」では、地域の学校や団体との連携効果もあり、参加された地域の方々から多くの称賛の声をいただくことができました。連携の輪を一過性のものとせず、次年度はさらに地域団体との関係を深め、さらなる市民主体による支え育ちまちづくりを目指します。



水彩画の展示

4 今後の展望

つるっこ画樹園を継続してきたことで地域行事として広く知られるようになりました。中学生の企画した事業に多くの地域住民が参加することにより、新たな交流が生まれています。今後は美術部員の活躍だけではなく地域の小中学生を対象を広げたり、地域団体と協力して紙芝居作りなどに取り組んだりすることも考えています。

